

第19回 全国防災連絡会議

テーマ：「多様な技術分野から大規模災害に備える」

(1)開 会 13:00～13:10

(2)2022年度防災支援委員会の活動報告と2023年度の計画 13:10～13:30

防災支援委員会 委員長 田村浩敏

(3)地域本部報告 13:30～14:10

地域本部、県組織の活動 ～連携が拓く防災への取り組み～

北海道本部防災委員会

東北本部防災支援委員会

北陸本部防災委員会

中部本部社会貢献委員会防災支援小委員会

近畿本部防災支援委員会

中国本部防災委員会

四国本部防災委員会

九州本部防災委員会

(4)災害時支援活動計画策定と防災・減災連絡会の設置について 14:10～14:30

防災支援委員会 委員長 田村浩敏

----- 14:30～14:45

休 憩 -----

(5)「多様な技術分野から大規模災害に備える」 14:45～15:30

防災支援委員会 委員長 田村浩敏

(6)意見交換 15:30～16:00

(7)閉 会 16:00

第19回全国防災連絡会議参加者一覧表

地域本部	氏名	地域本部役職	備考
北海道	小林正明	防災委員会副委員長	
東北	遠藤敏雄	東北本部長	
東北	滝上忠彦	東北本部事務局長	
東北	齋藤明	現 東北本部 参与 前 東北本部防災委員長	
東北	糸井秀実	東北本部防災委員長	
北陸	野澤英之助	防災委員会委員長	
中部	中野錦也	社会貢献委員会防災支援小委員会	
近畿	森川勝仁	防災支援委員会委員長	
中国	青原啓詞	防災支援委員会委員	
四国	木村一成	防災委員会委員長	
九州	石本俊亮	防災委員会委員長	

※事前確認できた分

第19回全国防災連絡会議

2022年度防災支援委員会の活動報告と 2023年度の計画

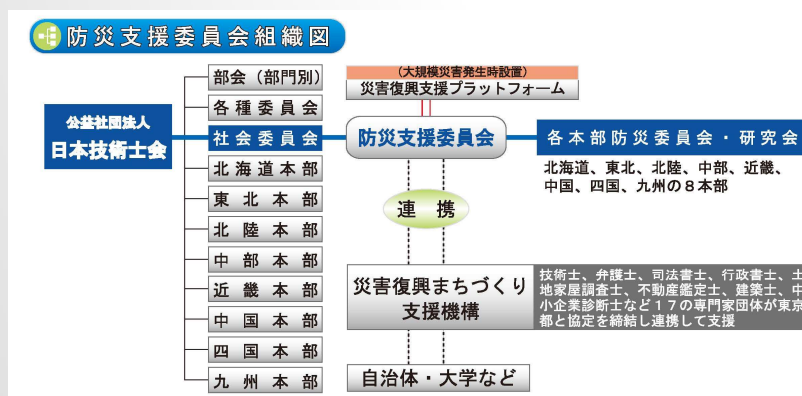
田村 浩敏

公益社団法人日本技術士会 防災支援委員会 委員長

1

公益社団法人日本技術士会の防災支援組織

- 日本技術士会の防災支援組織は、実行委員会防災支援委員会が担当しており、大規模災害時のセンター機能や関連団体との連携を図っています



2

公益社団法人日本技術士会の防災支援委員会

【委員会設置目的】災害被害の軽減を目的とした平時からの技術的支援活動、また大規模自然災害発生後の技術的な支援活動などを通しての本会並びに会員としての社会貢献活動の企画・運営

【主要業務】

1. 災害被害を軽減する活動への支援
2. 地域コミュニティ防災への支援
3. 防災支援活動会員の育成
4. 大規模自然災害発生後の技術的観点からの支援

【技術士パーソナルデータベースの運用管理】

日本技術士会会員の業務経歴の他、各種専門的な活動内容等を統合化するデータベース（DB）システムを構築し運用、防災関連では約1,200名の登録があります

3

2022年度活動のまとめ（行事等）

行事名	開催日	実施	内容	備考
東京都災害復興シンポジウム	7/15	都民ホール YouTube配信	誰ひとり取り残さない防災	YouTube公開は終了
第4回関東甲信支部防災連絡会議	9/1AM	WEB併用		
第18回全国防災連絡会議	9/1PM	WEB開催	CPD行事	WEB参加者300
首都防災ウィーク	9/4	屋外開催	展示ブース、相談会	災害復興まちづくり支援機構
CPD講演会	10/13	WEB開催	連続講座 第1回 防災へのリスクマネジメント導入基礎講座	会員限定有料講座
ぼうさいこくたい2022（神戸）	10/22-23	屋内外開催	近畿本部防災委員会が参加	
災害対策セミナー(神戸防災のつどい2023)	1/15	WEB併用	近畿本部、兵庫県支部主催	委員長のみ参加
震災対策技術展 横浜	2/2-3		展示及びセミナー開催	神奈川県支部と共同開催
CPD講演会	3/9	WEB開催	連続講座 第2回 BCMS/BCPの理論と実践	会員限定有料講座
第5回関東甲信支部防災連絡会議	3/11	WEB併用		

4

事業計画レビュー

1. 社会発信・社会実装へ貢献活動	活動実績	自己評価
防災イベント、展示会（ぼうさいこくたい、展示会1回）	<ul style="list-style-type: none"> ぼうさいこくたい2022は企画委員会指示により統括本部からの参加なく、近畿本部防災委員会が参加 第26回震災対策技術展（横浜）にて展示、セミナーを実施 	△
本支部における防災教育支援 CPD企画・提供	<ul style="list-style-type: none"> CPD行事開催目標4回/年に対して3回開催（全国防災連絡会議、CPD講演会×2回） 	△
技術士、日本技術士会の防災支援活動紹介のパンフ等広報物作成	<ul style="list-style-type: none"> 首都防災ウィークに合わせて防災クイズをタペストリー化 貸出等に対応可能になった 	○
継続活動支援WGの設置 パーソナルDB更新・広報	<ul style="list-style-type: none"> WG設置（7月） パーソナルDBは研究のみ。更新、広報はできず 	△

- 2021年度はCOVID-19影響により防災教育支援が実施できなかったが、2022年度はWEB活用により行事開催でき、WEB活用が定着した。
- 一方で2022年は、2018年まで実施してきた市民啓発活動を具体化することはできず、WGの活用など2023年度への課題となった。

5

事業計画レビュー

2. 本支部防災活動連携強化、 関東甲信県支部連携強化	活動実績	自己評価
第18回全国防災連絡会議（東京/防災の日）	<ul style="list-style-type: none"> 2021年に続き、9/1にWEBで開催し全国の会員300名の参加を得た。 新しい方向性「防災の全部門化」を提案した。 	○
地域本部、関東甲信県支部防災連絡会議の運営、防災活動支援強化	<ul style="list-style-type: none"> 関東甲信県支部の防災連携強化を目的とした「第3回、第4回関東甲信県支部防災連絡会議」を開催、関東甲信全県支部の参加を得た。 本部SAPD更新作業を完了、統括本部版として理事会承認を得た（9月）→ 地域本部でも作成の依頼（会長） 	○
大規模災害発生時のプラットフォーム活動	<ul style="list-style-type: none"> 2022年度はプラットフォーム設置はなかった。 	△

- 地域本部、県支部への活動支援はBCPIに相当するSAPD改訂を通じて順次展開していく。

6

事業計画レビュー

3. 士業連携の強化による大規模災害への対応	活動実績	自己評価
東京都災害復興まちづくり支援機構（士業連携）への参画、機構行事への参加、協賛	<ul style="list-style-type: none"> 中止行事もあったが、参加可能な行事には参加し、事務局活動支援も積極的に行った。 機構シンポジウム幹事として企画～運営まで担当した。 	○

- 東京の士業連携では、弁護士会のイニシアチブが強いが、技術士の特性を活かす提案ができていたか、疑問。
- 関東の大規模災害に対応可能な組織、機能が現段階で十分とは言えないなか、日本技術士会として今後、どのように機構に傾注していくのか議論が必要。

7

事業計画レビューまとめ

- 2022年度の活動総括として、「地に足付いた市民啓発活動」、「地域本部、県支部の防災支援活動の支援」に向けたワーキンググループを設立できた。具体的な活動は2023年度から本格化させていく予定。
- 会員の防災支援能力向上に資するCPDの提供ができた。ただし計画数には満たず
- 日本技術士会の防災支援活動の担い手が限定的に留まり、全地域本部・県支部、全部門が協力できる体制、活動になっていない。
- パーソナルDBの改善など、災害応答性を改善する取り組みが深められないまま終わった。

8

2023年度事業計画

技術士および日本技術士会の特性を活かし、事前対応を重視した市民社会の減災・防災力向上に貢献する。これら活動を具体化するため、自治体・市民団体に関係の深い士業連携の枠組み活動に積極的に参加する。また、また、2022年に理事会承認されたSAPDの地域本部、県支部への展開を図るとともに、全国の本部・支部が地域防災に貢献するための基幹を構築する。

1. 社会発信・社会実装への貢献活動

- ①防災イベント、展示会（ぼうさいこくたい2023、展示会1回）
- ②本支部における防災教育支援、CPD企画・提供
- ③技術士、日本技術士会の防災活動紹介のパンフ等広報物作成、パネルのタペストリー化
- ④防災支援継続活動WG支援、パーソナルDB更新・広報

9

2023年度事業計画

2. 本支部防災活動連携強化、関東甲信県支部連携強化

- ⑤第19回全国防災連絡会議（WEB併用）
- ⑥関東甲信県支部防災連絡会（3月、9月）の運営（WEB併用）
- ⑦地域本部、関東甲信県支部SAPD策定支援（訪問ヒアリング、防災減災連絡会/支援会議）
- ⑧SAPD策定等の災害時支援に係るパンフレットを新規作成
- ⑨大規模災害発生時のプラットフォーム活動（都度申請）

3. 士業連携の強化による大規模災害への対応

- ⑩災害復興まちづくり支援機構（士業連携）への参画、首都防災ウィークへの連携参加

10

2023年度活動計画（行事関連）

行事名	開催日	実施	内容	備考
東京都災害復興シンポジウム	8/4	都民ホール ライブ配信	災害復興まちづくり支援機構	
第19回全国防災連絡会議	9/1PM	WEB開催		
第6回関東甲信県支部防災連絡会議	9/1AM	WEB開催		
首都防災ウィーク 8/20開会式 9/6「誰一人取り残さない防災への取り組み」放送 9/9,10防災何でも相談・防災クイズ・ワークショップ	8/20～ 9/10	横網町公園 WEB配信	災害復興まちづくり支援機構として参加	
ぼうさいこくたい2023横浜	9/17, 18	展示	屋内ブース展示	
震災対策技術展 横浜	2/1,2		展示及びセミナー開催	
第7回関東甲信県支部防災連絡会議	3/11	WEB開催		

11



第16回 復興まちづくりシンポジウム
 専門家と共に考える災害への備え
 ～関東大震災100年
 首都直下地震の復興まちづくり支援に備える～

2023年
8/4 (金)
 13:00-17:00(開場12:30)

◆会場: 東京都議会議事室 1階 都民ホール
 ◆参加費: 無料 ◆定員: 240名※申し込み要
 ◆手話通訳あり ◆オンライン同時配信あり

【第1部】 ◆基調講演
 「関東大震災の帝都復興と首都直下地震の事前復興」 東京理科大学名誉教授 中林 一樹

【第2部】 ◆復興支援の報告
 「東日本大震災における宮城県での復興支援の取り組みと課題」 宮城県災害復興支援事業連絡会会長 一橋建設士 高橋 浩秋
 「西日本水害における広島県での復興支援の取り組みと課題」 広島県災害復興支援事業連絡会会長 技術士(総合技術職) 藤原 忠雄(元理事) 山下 祐一

◆パネルディスカッション
 コーディネーター: 東京理科大学名誉教授 中林 一樹
 パネリスト : 技術士(総合技術職) 津路 上野 隆一・土地家屋調査士 小本 聡 (50首領)・社会保険労務士 小島 健一・不動産鑑定士 東原 伸隆
 弁護士 鈴木 秀昌・中小企業診断士 藤田 千晴

申し込み方法
 【ホームページから申し込む】
 ① 災害復興まちづくり支援機構のホームページから、シンポジウム特設ページを開きます。
<http://www.j-drso.jp/2023sympo.html>
 ② 「シンポジウム」のリンクから、申し込み画面を開きます。
 ③ 必要事項を記入し送信してください。
 【FAXで申し込む】 ※裏面の参加申込書をご利用ください。

申込締切: 7月14日(金)

■第16回復興まちづくりシンポジウム

- ・ 8月4日盛会となった。
- ・ 実行委員（野村前防災支援委員長、伊藤前委員、加藤委員、田村）として昨年準備。
- ・ 当日運営：伊藤前委員、加藤委員、田村
- ・ 日本技術士会から上野元防災支援委員長、山下前委員が登壇
- ・ シンポジウム概要および資料 ⇒ <http://www.j-drso.jp/2023sympo.html>
- ・ 会場参加者 118人
- ・ 配信 Youtube 視聴回数 306回（配信中同時視聴者数 最大98人、平均78人）

12





13

災害復興まちづくり支援機構 みらくるTV進行表 (案)

●第11回首都防災ウィーク 全体企画
 URL <https://shutobo.net/>
<http://miracletv.site/>

- ・テーマ 関東大震災100年 迫り来る首都地震
- ・開催日時 2023年8月20日(日)～9月10日(日)
- ・主催 首都防災ウィーク実行委員会

●災害復興まちづくり支援機構 みらくるTV番組

- ・タイトル 誰一人取り残さない防災への取り組み
- ・実施日時 2023年9月6日(水)15:00～17:00
- ・配信方法 zoom上で行う説明・討議を、一般視聴者が視聴
 URL <https://us02web.zoom.us/j/3782787584> パスワード: 39
- ・出演者(敬称略)

立木茂雄(たつきしげお)	(同志社大学社会学部教授) ※録画出演
福田信章(ふくだのぶあき)	(災害協働サポート東京業務執行理事、東京災害ボランティアネットワーク事務局長)
大塚克久(おおつかかつひさ)	(社会福祉士)
金子三佳子(かねこみかこ)	(行政書士)
- ・司会 伊藤元(いとうげん) (災害復興まちづくり支援機構事務局員)
- ・ホスト(裏方)

中村久雄(なかむらひさお)	(首都防災ウィーク実行委員)
原香織(はらかおり)	(みらくるTV zoom管理者)

14

第11回 首都防災ウィーク 横綱町公園内
「災害復興まちづくり支援機構」担当者マニュアル

1. 「災害復興まちづくり支援機構」の展示(防災クイズ、防災ワークショップ)概要

- (1) 開催日時: 2023年9月9日(土)、10日(日) 10時~17時 (小雨決行、荒天中止)
- (2) 場所: 墨田区横綱町公園内 (墨田区横綱2-3-15)
JR両国駅より徒歩10分
都営浅草線両国駅A1出口より徒歩2分
- (3) 当日の緊急連絡先:



- (4) 企画概要
 - ① 防災なんでも相談: テント訪問者の質問に各専門士業から回答する。(訪問人数見込み: 10名)
 - ② 防災クイズ: テント訪問者に防災に関するクイズ10問を解いてもらい、採点をして解答用紙・解説等を返却する。回答者にはまちづくり支援機構のリーフレット、不動産鑑定士協会のノベルティ等をお土産として渡す。
(訪問人数見込み: 9日(土)100名、10日(日)200名)
 - ③ 防災ワークショップ: 防災クイズ参加者のうち希望者に、非常用トイレの使い方、心肺蘇生法または建物振動実験の説明をし、実際に体験してもらう。体験者には社労士会や技術士会のノベルティまたは実験工作キットをお土産として渡す。
(訪問人数見込み: 9日(土)50名、10日(日)100名)
- (5) テントブース配置: 慰霊堂(右図①)へ向かう通路の脇



P-82 公益社団法人 日本技術士会

技術士と日本技術士会の防災支援

- ・ 技術士・日本技術士会の紹介
- ・ 防災支援活動の紹介
- ・ 子ども向け防災クイズ
- ・ パンフレット・ノベルティ配布

中央図書館 カフェにてブース展示

出展タイプ別詳細: プレゼンテーション

13.

プレゼンテーション 出展者がブースに常駐して来場者に説明をするタイプ

出展タイプ	現地出展	平日	休日	事後
パター1	○	○	×	△ (任意)
パター2	○	×	×	△ (任意)
パター3	×	△	△	△ (任意)



- 出展内容動画... オフライン動画、動画
- データ動画... 現地出展の模様を収録した動画、ライブ配信を収録した動画、オフライン配信した動画

パター2 (現地出展)

- 出展場所 (予定) 経済学部講義棟2号館: 3号フロア
経済学部講義棟1号館: 学生ホール
大学会館: 小講堂 (フロア)、ロビー
教育学部講義棟7号館: 5号フロア
中央図書館: 108情報ラウンジ、109カフェ

- 出展時間 2日連続日 ※一部日ごとの出展時間も異なります。
- 予定小間寸法 幅1,980mm x 高さ2,400mm
- 無償提供 出展者名プレート、長机1本、イス2脚、JIS規格付用粘着テープ、チェーンフック2セット



パター3 (オンライン)

- 出展方法 公式ホームページにてライブ配信もしくはオフライン配信を行います。配信手段は出展者様の作業となります。

2023年度に企画する行事等

1. CPD提供（会員の防災支援力強化）
部会、地域本部・県支部とのジョイントなどにより、4回/年程度セミナーを開催
2. 市民啓発活動
オープンセミナー、減災まち歩きなどの開催
3. SAPD改訂および地域本部への作成支援
BCMとともに防災支援活動を展開するための計画立案

17

ご静聴ありがとうございました

18